

注意点1

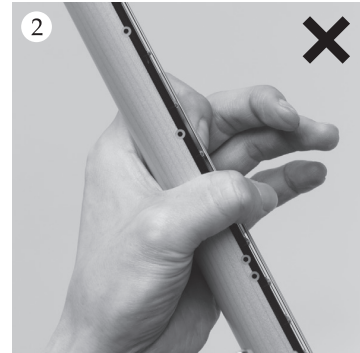


必ず隙間を作るべし！  
スライド時のネックの握り方

指を滑らせながらふたつの音を繋げていくテクニックを“スライド”と言う。スライド時に指をスムーズに動かすためには、**手の平とネックの間に多少の隙間ができるようにネックを持つ**とよい(写真①&②)。また、親指をネックの上部から少しだけ出すようにすると、手を横方向に的確に動かしていけるようになるだろう。



手の平をネックに付けないようにしましょう。また、親指は添える感じでネック上部に置くとよい。



手の平がネックに密着してしまうほど深く握り込むと、横移動がしにくくなるので注意しよう。

注意点2



ノイズ対策は抜かりないか？  
ミュート法を確認しよう

メイン・フレーズのような激しく横移動していくスライド・フレーズでは、誤って開放弦を鳴らしてしまうことがあるので、余弦のミュートに気を配る必要がある(写真③～⑥)。基本的には、**指を寝かせながら隣接弦に軽く触れて、余計な振動を抑える**ことが大切だ。さらに、ほかの指を活用して、低音弦をミュートするようにしよう。



中指のスライド。人差指も使ってミュートしよう。



指を立てると、スライドもしにくくなる。



人差指のスライド。指を寝かせよう。



指を立ててしまうと、ノイズが発生しやすくなる。

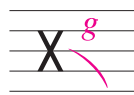
～コラム10～

地獄の戯れ言

始点、もしくは終点の音程が決まっていないグリスは、ソロはもちろん、リフなどにも活用できる(図2)。例えば、リフの導入部や展開前に“ブーン！”という音程感のないグリスを入れることによって、ワイルドな雰囲気が出せるだろう。ちなみに、このようなフレーズは、5&6弦でグリスすると、迫力が增强する。

低音弦グリスをくり出して  
ワイルドさを演出せよ！

図1 グリス



このような記号を見たら！



5&6弦の2本弦を、  
中指でグリスする。

15付近からヘッドに向かって、弦を擦りながら移動。